

# 2021 年度 全日本学生ロードレース・カップ・シリーズ 第6戦 群馬 CSC クリテリウムラウンド 大会要項

ver.211105

主催 日本学生自転車競技連盟  
 後援 公益財団法人日本自転車競技連盟  
 協賛 井上ゴム工業株式会社 株式会社イノアックコーポレーション 株式会社日直商会  
 大会日程 2021年11月17日(水) 20:00よりチーム監督/代表者・感染対策チーム責任者 Zoom 会議  
 2021年11月20日(土)

9:30		開門(検温チェック開始)	
10:00		受付(ゼッケン配布、欠場確認)、試走~10:45まで	
11:00	男子	クラス3-A組 (20周・24.0km)	ポイントレース方式
11:45	男子	クラス3-B組 (20周・24.0km)	ポイントレース方式
12:30		昼食 + クラス3 表彰式	
13:10	男子	クラス1+2 (30周・36.0km)	ポイントレース方式
14:30		クラス1+2 表彰式	

注: エントリー状況により距離/時間は変更となる場合があります。

会場 群馬県利根郡みなかみ町新巻 3853 群馬サイクルスポーツセンター  
 特設周回コース 1周回:1.2km 標高差:10m

大会主旨 本大会は、当年度日本学生自転車競技連盟に登録した学生選手、社会人、およびジュニア選手によるクリテリウム競技会優勝者を決めるとともに、学生自転車競技水準向上と、開催地域におけるサイクルスポーツの振興に寄与することを目的とする。

競技種目 クリテリウム

参加資格 1. 当年度に有効な(公財)日本自転車競技連盟登録競技者、または、UCI 加盟国内連盟競技者ライセンス保持者であること。

クラス1	40名	学連登記選手 クラブチーム	クラス1 実業団クラスタ P または E 1 の選手、同相当と主催者が認める者
クラス2	80名	学連登記選手 クラブチーム	クラス2 実業団クラスタ E 2 の選手、同相当と主催者が認める者
		高校生	全国大会で入賞経験のある選手
クラス3	100名	学連登記選手 クラブチーム	クラス3 実業団 E クラスタ 3 の選手、同相当と主催者が認める者
		高校生	クラス2以外の選手
女子	40名	JCF 登録女子競技者	

2. RCS ポイント対象者は、日本学生自転車競技連盟加盟校の登録選手とする。
3. 別途本連盟より発表の「大会開催時ウイルス感染防止対策ガイドライン」を順守し、その遂行に協力し審判・感染対策委員及び総務委員の指示に従うことを参加条件とする。当連盟ガイドラインを順守せず、その遂行に協力を拒む場合、および当日の体調が新型コロナ罹患を疑われる場合には、それが故意であるかにかかわらず、大会参加・会場への入場を認めない。尚、参加申込にあたっては、本大会参加に伴って万が一生じた如何なる不利益・損害も参加者本人の責任に帰する事を承諾し、当連盟ガイドラインのみならず、所属校・居住地行政などの指針を熟慮のうえ参加可否を判断すること。
4. 尚、本大会参加選手並びにチームスタッフについては、PCR 検査を受けて大会当日までに陰性もしくは低リスクであることを当連盟まで報告することを参加条件とする。本大会開催当日までに報告がない場合はその選手並びにチームスタッフの参加を認めない。PCR 検査の結果報告の方法についての詳細は別途発表するコミュニケを参照すること。また、参加選手並びにチームスタッフは、当連盟の「大会開催時ウイルス感染防止対策ガイドライン」に沿って大会開催 14 日前からの体調・体温の記録を各自記録しておくこと。当連盟から当該データの提出を求められた際には速やかに提出できるようにすること。
5. 本大会参加各校については、エントリー選手数(男女合計)に応じて、以下の通り役員を供出することを参加条件とする。エントリー9名~16名で1名、17名~24名で2名、25名以上で3名とする。供出役員に審判ライセンスの有無は問わない。但し、PCR 検査を受けて大会当日までに陰性もしくは低リスクであることを当連盟まで報告すること。なお、供出役員については1名につき3000円までのPCR検査費用を補助するが、大会当日の開門時間前に大会会場に集合する事を必須条件とする。(交通費の支給は行わない)。また、供出役員の氏名等をエントリー用紙に記入すること。供出役員は出場選手と同様に大会開催 14 日前からの体調・体温の記録を提出可能とすること。エントリー用紙に記入した供出役員名を変更する場合は、大会開催3日前の22時までに当連盟事務局宛てに変更後のエントリー用紙をメールで送ること。これ以降の供出役員の変更は認めない。尚、変更後の供出役員の体調・体温の記録も同様に提出可能にし、PCR 検査を行い、当日までに陰性もしくは低リスクであることを当連盟まで報告することを条件とする。尚、詳細については別途発表するコミュニケを参照すること。

参加申込 1. 参加を希望する選手は学校、チーム単位で所定の様式にて11月4日(木)までに日本学生自転車競技連盟宛に申し込むこと。エントリー専用電子メールアドレス(jicf.rcs.entry@gmail.com)への到着を以て参加

申込の正式受領とするが、同一内容を郵送もしくは FAX にて事務局宛、期限内に送付する事。申込書式は JICF ウェブサイトより入手できる。締め切り後、受付完了者リストを本連盟web サイトに発表するので、各自受付済みであることを確認のこと。なお、大会当日受付でのライセンスチェックを行わないので、選手全員の一名分ずつのライセンスの写真画像データまたはスキャン画像データをエントリー用紙に添付すること。尚、ライセンスの写真画像データはエントリー用紙にデータを埋め込まずに、別添付すること。ライセンスが申請中の場合は、申請中であることを証明する書類のデータを添付すること。

2. 参加料は学連登記選手 1 名につき 4,000 円、それ以外の競技者は 1 名につき 6,000 円とする  
参加料の送金は銀行口座振込とする。送金名義人について、振込元に大会コード名「1120」と、学校単位の場合は学校名を、オープン参加については参加者名を記入して振込むこと。  
振込口座 長野県労働金庫(ろうぎん) 諏訪湖支店 普通 9 6 8 7 4 4 4 口座名 日本学生自転車競技連盟
3. 一旦入金された参加料は如何なる理由があろうとも返金しない。但し、新型コロナ関連の影響で本大会の開催を当連盟が中止した場合には、大会開催に要した費用を差し引いた金額を銀行振込で返金する。返金用の銀行口座をエントリー用紙に記入すること。また、上記の参加資格にあるように当日の体調不良や新型コロナ対策の履行を妨げることにより参加不可の判断を下された場合には参加料は返却しない。
4. 尚、本大会における欠場については、理由を問わず(怪我等の正当事由がない場合でも)ペナルティを課さないこととする。ただし、必ず事前に事務局(jicf@remus.dti.ne.jp)まで電子メールで欠場の連絡をすること。また、当日の発熱等、体調不良により欠場する場合は、受付開始までに学連携帯090-2207-2369へ必ず連絡をし、事務局までメールをすること。なお、欠場の場合は参加料は返却しない。

会場入場 1. 本大会は無観客大会とする。また、大会に来場する全ての選手、チームスタッフ、メディア関係者、その他の関係者はPCR検査を受け、当日に陰性もしくは低リスクであることを当連盟に報告することを大会開催エリアへの入場の条件とする。当日までに陰性もしくは低リスクであることを証明することができない場合は、そのチームスタッフ、メディア関係者、その他の関係者の入場は一切認めない。詳細については別途発表するコミュニケを参照すること。

2. チームスタッフについては大会開催エリアへの入場者数を抑えてなるべく三密状態を避けるため、選手以外の方がスタッフとなる場合には、選手数+1名をスタッフ数の上限として会場への入場を許可する。尚、監督とコーチはスタッフの合計人数に含まれる。また、チームスタッフの選手以外の全員の氏名をエントリー用紙内に記入すること。氏名の記入がない場合には、大会開催エリア内への入場を許可しない。
3. チームスタッフは出場選手と同様に当連盟の「大会開催時ウイルス感染防止対策ガイドライン」に沿って大会開催14日前からの体調・体温の記録を各自記録しておくこと。当連盟から当該データの提出を求められた際には速やかに提出できるようにすること。エントリー用紙に記入した来場予定のチームスタッフの氏名を変更する場合は、大会開催3日前の22時までに当連盟事務局宛てに変更後のエントリー用紙をメールで送ること。これ以降のスタッフの変更・追加は認めない。尚、変更後のスタッフの体調・体温についても大会開催14日前からの記録を同様に提出可能にすること及びPCR検査を受けて大会当日までに陰性もしくは低リスクであることを報告することを条件とする。
4. メディア関係者は、来場する場合、当連盟HPより取材申請書と体調管理シートを入手し、大会開催4日前の24時までに取材申請書をメールで事務局宛へ提出ください。また、選手の参加資格3.にありますがように当連盟の「大会開催時ウイルス感染防止対策ガイドライン」に沿って、必要な情報に関する書類の提出などにご協力いただくことを原則とします。なお、体調管理シートに大会開催14日前からの体調・体温についての記録を記入して大会当日に大会本部に提出して頂く必要があるとともに、PCR検査を受けて大会当日に陰性もしくは低リスクであることを証明することができるようにすることが必要です。証明することができない場合は、競技場内への入場をお断り申し上げます。選手及び競技役員の方の安全のためご理解ください。

選手受付 1. ライセンスコントロールは事前にデータ上で行い、大会受付の現場では行わない。別途コミュニケ発表の受付場所にてゼッケンを受け取る。この時点で、招集の代わりとするので欠場する場合は該当する選手の氏名を大会受付まで申し出ること。

2. 本大会は出走前の出走サインは行わない。出走前のバイクチェックについては、各自必要と思われる選手はバイクチェックを受けることができる。マスクを着用、決められた間隔をあけて順番を待ち、自転車器材については基本的に選手本人が取り扱うものとし、審判は自転車器材等には触らないことを基本とする。レース終了後に上位者およびランダムサンプリングによりバイクチェックを行うことがある。器材に関する規則違反が明らかになった場合、レース終了後であっても、失格とする。詳細は別途発表するコミュニケにて確認すること。

賞典 3. 正当な理由なく前項の規定を履行できない選手は、参加することは出来ない。  
1. 各クラス各組の優勝者および第2～3位に賞状を授与する。男子は4位から8位までに賞状を授与する。(尚、オープン選手を含めた順位で表彰する)  
2. クラス2の第1位はクラス1に昇格する。また、クラス3の出走者(オープン選手の数は含めない)各組上位5%以内の者(小数点以下切上げ最大6名)はクラス2に昇格する。尚、完走しなかった者は昇格できない。(詳細は下記特別規則参照)  
3. RCSランキングポイントについても、オープン選手を含めた順位で計算する。学連登記選手のみでの繰り上げはしない。

式典 開会式・閉会式は行わず、表彰式のみ行う。上位3位以内を対象とし、時程表に従い、表彰式を行う。

事故措置 1. 競技中発生した事故等について、主催者にて応急処置の範囲の体制は準備するが、以降は各自の責任と費用負担において対応のこと。

2. 各選手は、各自の責任において障害保険に加入し、健康保険証を必ず持参すること。

競技規則 JCF 競技規則による他、詳細は本大会特別規則を定め適用する。  
事務局 日本学生自転車競技連盟 E-mail: jicf@remus.dti.ne.jp URL: https://jicf.info/  
〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町4番2号 ジャパンスポーツオリンピックスクエア 408  
Tel 090-2207-2369 (兼当日緊急連絡先) Fax 03-6804-2329

## 特別規則

### 第1条 (競技)

1. 本大会のクリテリウムはポイントレース方式とし、完走周回数と、中間スプリントで与えられる得点を基に最終順位を決定する。周回数において同等の場合は、得点の多寡による。周回、得点において同等の場合は、中間スプリントの勝数による。以上においても同等の場合は、最終スプリントの順位による。中間スプリントはゴールから逆算して5周回毎に行う。  
中間スプリントの得点としてフィニッシュラインを通過した先頭から順に5点, 3点, 2点を与える。最終ゴールは上位5選手に、10, 7, 5, 3, 2点を与える。周回獲得者には20点を加算する。
2. 飲食料の補給は認めない。
3. 代車・代輪の交換は、認められる事故の場合に指定されたピット (PIT) においてのみ認められる。ピットの位置についてはコミュニケに添付する特設周回コース図を参照すること。
4. ピット監察員及び MOTO 移動審判によって確認された認められる事故の場合、最後の5周を除き1週のニュートラリゼーションが与えられる。ニュートラリゼーション適用後最初の中間スプリントではポイントを獲得することができない。

### 第2条 (失格・棄権)

1. 原則として、メイン集団より30秒遅れた選手及び、集団から離れて集団に復帰できないとコミッセルが判断した者は失格とする。
2. 競技を中止した選手は、コースから出て、速やかにゼッケンを外すこと。

### 第3条 (チーム監督/代表者・感染対策チーム責任者会議)

2021年11月17日 (水) 20時00分より、事前にリモートでチーム監督/代表者・感染対策責任者会議を行う。  
参加チームの監督/代表者、感染対策チーム責任者は必ず参加すること。尚、無断欠席の学校に対してはペナルティを科す。会議アドレスはエントリー用紙記載の記入者 E-mailアドレスに送付します。

### 第4条 (その他)

1. ジュニア選手のギア比の制限は翌年3月31日時点の年齢を以て適用する。レースの前後に適宜ギア比の検査を行うことがある。
2. クラス1+2の出走のクラス2の第1位はクラス1に昇格し、クラス3各組出走者のうち、上位5% (学連登記選手のみを対象とし、小数点以下切上げ最大6名) はクラス2に昇格する。また、クラス3の各組について、出走者数が異なり、5%の人数に差が出る場合は、各組の昇格者は同一とする (組間の均衡を図るため)。また、欠場者が出て組間の人数バランスが著しく不均衡となった場合、組間の出走者の移動を行う場合がある。
3. RCS ポイント総合順位のリーダーは、リーダーズジャージを着用してスタートしなければならない。
4. 公道を走行可能な装備を義務付ける。ベル、後方反射板もしくは反射テープは必須とする。

参加申し込みの際し、以下を熟読し、申込みと同時に「内容に同意した事」とみなす。

## 誓約書

日本学生自転車競技連盟 殿

下記大会参加にあたり、当チームの選手・監督・コーチ・メカニック・その他すべての自チーム員が以下のことを確認し、順守すること誓います。

- 1 UCI (国際自転車競技連合)・JCF (日本自転車競技連盟) 規則を順守し、誠実かつスポーツマン精神に則りフェアな態度で自転車競技に参加すること。(UCI規則1.1.004, JCF規則第5条2.(4))
- 2 大会 (競技中のみならず式典・公式練習等の付帯行事を含む) における参加者の肖像権は本連盟に帰属すること。(JCF規則第5条2.(9)準用)
- 3 規則に規定される仕事と責任に加えて、チーム監督は、スポーツ活動と競技者のチーム内の自転車スポーツ実践における社会的・人的条件の管理について責任がある。(UCI規則1.1.078)
- 4 チーム監督は絶えず組織的に、可能なときはいつでも、社会的・人的条件を改善する努力をしなければならない。そしてチームの競技者の健康と安全を守らなければならない。(UCI規則1.1.079)

- 5 チーム監督は、チームに所属する者あるいはいかなる役目であってもそのために働く者により規則が順守されることを保証しなければならない。  
彼は他の者の模範とならなければならない。（UCI規則1.1.080）
- 6 すべてのライセンス保持者はレースのない時でも常にきちんとした服装をし、あらゆる場合において礼儀正しいふるまいをしなければならない。  
すべてのライセンス保持者は、おどしや、侮辱や、下品なふるまいや、他の人を危険な状態におとしいれたりしてはならない。言葉、身振りや書いたものなどで他のライセンス保持者や役員やスポンサーや連盟、UCIおよび自転車競技全般の名誉や評判を傷つけてはならない。批評の権利は、穏健に、十分な動機があり筋の通った方法でのみ行使できる。（UCI規則1.2.079）
- 7 競技者はスポーツマンとしてあたえられた機会を守らなければならない。  
競技者間の利害に関し、いかなる共謀や偽りや誹謗は禁止する。（UCI規則1.2.081）
- 8 競技者は最大限の注意を払って行動しなければならない。競技者が原因で発生した事故に関しては自分で責任を負わなければならない。  
競技者は開催国における法律を順守しなければならない。（UCI規則1.2.082）

注意：大会要項は諸事情により変更される場合があるので、JICF ウェブサイトを随時チェックすること。